

ICSW

ICSW グローバル・コーポレーション (国際社協ニュースレター)

2009 年 1 月

【概要】

- 年頭に当たって
- 調査研究と市民社会の出会い
- 世界的金融危機：何を為さねばならないか？
- ノルウェー、政府開発援助（ODA）首位に躍り出る
- 世界的食糧危機の主要原因について
- グローバル化するケア経済と、世界的なケアの連鎖における移民労働者の搾取
- IPC（国際貧困研究センター）出版物
- UNRISD（国連社会開発研究所）ニュース
- 第 8 回汎アフリカ地域会議 2009 年 4 月 14～16 日

**年頭に当たって～常務理事デニス・コレル所感**

今年は我々の多くが、恐れと希望がないまぜになった状況に直面するものと思われる。恐れ—それは、この後世界経済に何か起こるのか、またこの景気後退が今後どれくらいの間社会的弱者に負の影響を与え続けるのかが誰にもわからないことへの恐れである。希望—それは、米国が世界において新しい位置を占めるべく立ち上がり、ブッシュ政権下での好戦的な態度を改めてくれることへの期待である。

来週から数週間にわたり、ICSW の代表団は国連社会開発委員会に参加する。今年のディスカッションのテーマは、「ソーシャル・インテグレーション（社会的統合）」である。ICSW の声明文については、以下を参照のこと。

<http://www.icsw.org/un/un.htm>

ブッシュ政権下、米国は社会開発委員会を含む国連のアプローチに対する妨害ぶりで悪名高い存在であった。ICSW が代弁している人々にとってためになるような課題について米国代表が邪魔立てした件については、エピソードがありすぎるほどである。このような時代は終わったものと思いたい。

オバマ大統領の成功を心から願う。世界はまさに彼の双肩にかかっているのである。

今月初旬、クリスチャン・ロレ会長と私は、南アジア地域の再活性化を目的として、そのメンバーと会った。インドのケララ州在の受け入れ側は、新しい勢いをもたらすことに熱心であった。それと平行して副会長のチャールズ・アビィは、疲れも見せずに貧

困と社会開発の問題について、様々な国際会議で訴えるために飛び回っていた。

1 月、クリスチャン・ロレ会長と私は、2010 年に香港で開催される国際会議 ([www.swsd2010.org/en/index.html](http://www.swsd2010.org/en/index.html)) および 2012 年にストックホルムで開催される会議の企画会議に、ICSW を代表して出席した。香港については、企画は順調に行っている。この会議は国際ソーシャルワーク学校連盟 (IASSW) と国際ソーシャルワーカー連盟 (IFSW) との合同で行なわれる。3 者共通の中心問題を扱うべく、会議は政策、教育、そして実践の観点から課題を吟味する。そして、各活動のレベルを反映すべく、プログラムは世界、地域、国、そして地元の各レベルにおける問題をカバーするものとなる予定である。3 つのテーマは、「ライフコースの課題と現実化」、「公正と社会的包摂」、「持続可能な環境」である。会議は将来への統合的な展望を示す 3 者の会長によって開会されることとなっている。

### **調査研究と市民社会の出会い**

常連の読者はすでにご存知だろうが、ICSW は調査研究と実践団体との結びつきを奨励しており、国連社会開発研究所 (UNRISD) 由来の新しい仕事を広報している。詳しくは以下を参照されたい。1 月、UNRISD は市民社会の代表ら (ICSW プログラム・コーディネーターの Roselyn Nakirya を含む) と協議を行なった。

協議の目的は以下の通りである。

- 1) 将来の調査研究において扱われる可能性のある、現在出現しつつある主要な問題を特定し、NGO の調査研究に関するニーズと関心への理解を深める。
- 2) 調査研究の結果を NGO に伝えていくやり方をどのように向上させるかについての助言を求める。
- 3) UNRISD の調査研究の結果を NGO 関係者に提供する。

協議は、UNRISD の調査研究アジェンダ (2010~2014) の次段階計画の一助として、また UNRISD と市民社会組織の関係作りにおける新しいアプローチを開発するために組まれた。

UNRISD のスタッフは、以下を含む現在の調査研究の概要を説明した。

- 社会政策・開発
- 貧困についての最高のレポート
- ジェンダーと開発
- 市場、ビジネス、そして規制
- 市民社会と社会動向

ミーティングに先立ち、参加者から提出された調査研究アイデアを検討した結果、6 つのテーマ下での助言の組み分けに帰結した。6 つのテーマとは、「人権と差別」「市民社会」「市場規制」「社会政策／社会保護」「持続可能な発展と環境」「ガバナンス、制度、政策策定」である。

### 世界的金融危機：何を為さねばならないか

フリードリッヒ・エーベルト財団は、よく研究されたペーパーを出している。本ペーパーでは、Christopher Rude が現在の金融危機の原因、その世界経済への影響、そして特に開発途上国の社会コストについて書いている。ここでは、金融市場において民主主義国家に有利なようにバランスを傾ける世界的な金融改革について論じているが、とりわけ注目しているのは、バーゼルⅡの三本柱の見直しであり、また透明性を増し、市場リスクを減少させるための包括的な市場規制の創造である。現在直面している危機を救うために、本ペーパーでは、銀行間取引市場および財政刺激策に焦点を当てた追加的な流動性措置について論じている。

詳しくは下記のブリーフィング・ペーパーNo.12-2008 を参照のこと。

<http://library.fes.de/pdf-files/bueros/usa/05869-20081126.pdf>

### ノルウェー、政府開発援助（ODA）首位に躍り出る

ノルウェーは、2007年の開発支援として37億ドルを付託したが、これは前年を上回るものであり、国民総所得（GNI）の割合（0.95%）でいうと、いまや世界でも最も高いレベルのODAを提供していることになる。

ノルウェーはまた首尾一貫して、自国の開発政策・プログラム同様、国際援助制度を向上させるための努力の最先端を行っており、援助効果を支えている。その開発援助に対する柔軟なアプローチは、変わり行く状況と新しいチャンスへの素早い対応を可能とした。ノルウェーの開発協力には、革新的な実践がある。例えば、ODAはいかにして開発および貧困削減というグローバルな課題に対する非ODA的貢献にとっての触媒たり得るか、という点を見据えているところなどである。

OECDの開発支援委員会がノルウェーのODAについてまとめたものについては、下記を参照のこと。

[www.oecd.org/dac/peerreviews/norway](http://www.oecd.org/dac/peerreviews/norway)

### 世界的食糧危機の主要原因について

農業・貿易政策研究所（IATP）の最新レポートによれば、世界の食料品価格の乱高下において主要な役割を果たしてきたのは、農産物市場における過剰な期待であり、これが栄養不良の人々の爆発的な増加、および農産物市場の不安定化を招いたのである。全文は以下を参照のこと。

[www.iatp.org](http://www.iatp.org)

### グローバル化するケア経済と、世界的なケアの連鎖における移民労働者の搾取

Nicola Yeatesによるこの本を見たある人物が、次のように述べている。

「この本は確かに、将来のジェンダー、ケア、そしてグローバリゼーションに関する議論における、新しい論及点となるだろう。Nicola Yeatesは、フェミニスト的関わり方と洗練された学者としての知的な洞察とを兼ね備えている。彼女の研究は、家族文化というものが、世界経済と移民の必要性とを持ち扱うのにどのように悪戦苦闘しているか、またそのプロセスがいかに破滅的なものであるかを分析するものである。これは、ジェンダーおよびグローバリゼーションに関心のある人々にとって、必読の書である。

Lise Widding Isaksen, Department of Sociology, University of Bergen, Norway £50  
オンラインでの申し込みは下記のウェブサイトから。

[www.palgrave.com](http://www.palgrave.com)

#### **IPC (国際貧困研究センター) 出版物**

【タイトル】 Eliminating Gender Inequalities Reduces Poverty. How?

『ジェンダー的不平等は、貧困を削減する。どうやって?』

【著者】 Joana Costa および Elydia Silva

【シリーズ】 One Pager #73

著者らは、あらゆるタイプのジェンダー的不平等への取り組みが、貧困のレベルを下げている、と論じている。もっとも大きなインパクトは、労働市場への女性参加の促進からもたらされる。

<http://www.undp-povertycentre.org/pub/IPCOnePager73.pdf>

【タイトル】 Opportunity NYC: A Performance-based Conditional Cash Transfer Programme. A Qualitative Analysis

『チャンス！ニューヨーク市：成果に基づく条件付現金給付プログラム～その質的分析』

【著者】 Michelle Morais de Sá e Silva

【シリーズ】 Working Paper # 49

著者は、ニューヨークの現金給付プログラムおよび開発途上国への教訓についての彼女の前回の出版物をさらに拡張した。ダウンロードはこちら([here](#))から。

<http://www.undp-povertycentre.org/pub/IPCOnePager71.pdf>

【タイトル】 Cash Transfers and Child Labour: An Intriguing Relationship

『現金給付と児童労働：興味をそそる関係』

【著者】 Guilherme Issamu Hirata

【シリーズ】 One Pager # 71

著者は、現金給付プログラムの児童労働へのインパクトを分析している。ダウンロードはこちら([here](#))から。

<http://www.undp-povertycentre.org/pub/IPCOnePager71.pdf>

【タイトル】 Are the MDGs Priority in Development Strategies and Aid Programmes? Only few are!

『開発戦略および支援プログラムにおいてミレニアム開発目標 (MDGs) は優先すべきものですか？ちょっとだけ！』

【著者】 Sakiko Fukuda-Parr

【シリーズ】 Working Paper # 48

著者は、一般的に信じられていることと異なり、数多くの貧困削減戦略ペーパーおよび支援プログラムにおいて、MDGs は適切に扱われてはいない、と論じている。ダウンロードはこちら ([here](#)) から。

<http://www.undp-povertycentre.org/pub/IPCWorkingPaper48.pdf>

#### UNRISD (国連社会開発研究所) ニュース

- 『書評：辺境住民の社会保護』 (Literature Review: Social Protection of the Rural Population)

本ペーパーは、高齢者保護と健康保護および貧困削減に対するそれらの影響という分野における、辺境地の貧しい人々のための社会保護メカニズムについての既存の書についての評を目的としたものである。ここでは、辺境地の貧しい人々のための社会保護メカニズム提供における欠点と難点、またこうした障害を乗り越えるための可能性のある方法を検討している。

<http://www.unrisd.org/80256B3C005BF3C2/setLanguageCookie?OpenAgent&langcode=en&url=/80256B3C005BCCF9/search/0550B59441F42117C12574FE003AC790?OpenDocument>

- 『社会保護と貧困削減』 (Social Protection and Poverty Reduction)

過去 10 年間、社会保護は開発途上国における貧困と脆弱性を訴えるための政策的な枠組みとして姿を現していた。本ペーパーは、2 つの目的を伴っている。ひとつは社会保護の全容を紹介すること、もうひとつは開発途上国における貧困と脆弱性を訴えるその潜在的な貢献を評価することである。

<http://www.unrisd.org/80256B3C005BF3C2/setLanguageCookie?OpenAgent&langcode=en&url=/80256B3C005BCCF9/search/83C1E8A40087D478C12574FE0039328F?OpenDocument>

- 『現金給付、社会保護、そして貧困削減』 (Cash Transfers, Social Protection and Poverty Reduction)

本ペーパーの目的は、開発途上国における貧困および不平等削減およびのツールとして現金給付を利用することへの評価である。本ペーパーでは、実際には現金給付

は決して普遍的なものではなく、ある特定のグループの人々に限定して絞る場合にのみ、相対的に管理しやすくなると結論付けている。しかしながら、社会カテゴリーに基づく絞り込みは、インクルージョン（包摂）およびエクスクルージョン（排除）の主だった誤りを包含する可能性がある。

<http://www.unrisd.org/80256B3C005BF3C2/setLanguageCookie?OpenAgent&langcode=en&url=/80256B3C005BCCF9/search/207C8A9E75D293EAC12574FE003A4780?OpenDocument>

- 『統治する女性：民主化およびガバナンス改革のコンテキストにおける女性の政治的効力』（Governing Women: Women's Political Effectiveness in Contexts of Democratization and Governance Reform）

国民議会における女性の比率は、かろうじて平均 16%となっているが、議会で女性が 49%を占めるルワンダ、今年になって新しい女性大統領をいただくリベリアおよびチリなどの顕著な部外者の出現は、女性が代表として大いに進出することへの期待を抱かせるものである。しかしながら、女性のニーズを反映し、女性の権利を保護するためのガバナンスおよび責任の制度を創設するという課題にとって、官公庁に入るということは、最初の一步に過ぎない。Anne Marie Goetz が編集したこの巻のエッセイでは、市民社会の中の女性と政治の世界にいる女性との間の効果的なコネクション、女性の関心に応え得る政党プラットフォームの発展、女性が効果的に関われる地方自治体の調整、そして女性に応える責任メカニズムについての条件について考察されている。本書は、ジェンダーからみた良きガバナンスとは、女性の政界進出以上のものを必要とする、と論じている。大衆行動を導く根本的な動機の変化と、ジェンダー的平等を支える政策とを必要とするのである。

<http://www.unrisd.org/80256B3C005BF3C2/setLanguageCookie?OpenAgent&langcode=en&url=/80256B3C005BCCF9/search/D938FD0A6B5A6398C12575270048B969?OpenDocument>

#### 第 8 回汎アフリカ地域会議 2009 年 4 月 14～16 日

国際ソーシャルワーク学校連盟（IASSW）と国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）の会議がベリヤで開催される。ICSW からは東・南アフリカ地域会長である Judith Kaulem が、会議の企画において IASSW および IFSW と協力してきた。会議のテーマは「アフリカにおけるソーシャルワーク教育・実践および社会開発の促進」である。ソーシャルワーク教育、ソーシャルワーク実践、ソーシャルワーク教育・実践におけるリンク作りとパートナーシップ作り、そして人権と環境が、4つの柱として掲げられている。

詳しい情報は、東・南アフリカ地域および中央・西アフリカ地域のニュースレターに掲載される予定である。

本ニュースレターの内容の引用・転載は、出展を明らかにする限り自由です。本ニュースレターに掲載された見解は、必ずしも ICSW の方針であるとは限りません。

編集：ICSW 常務理事 デニス・コレル

ICSW 連絡先

ICSW C/- MOVISIE PO Box 19129

3501 DC Utrecht

Netherlands

Email: [icsw@icsw.org](mailto:icsw@icsw.org)

Tel: +31 30 789 2226

## ICSW

### ICSW グローバル・コーポレーション（国際社協ニュースレター）

2009 年 2 月

#### 【概要】

- 社会的統一国連社会開発委員会
- 国連貿易開発会議（UNCTAD）の新しい出版物
- SAGE 出版のソーシャルワークおよび社会政策関連誌のオンライン無料お試し読み
- 国際ソーシャルワーク
- 国連人権理事会
- 新しい調査研究
- IPC（国際貧困研究センター）の新出版物
- ICSW ウェブサイトの新しいニュース

#### **社会的統一国連社会開発委員会**

社会的統一というトピックについて、これほど多くの国／地域／世界組織代表が国連で話したことはかつてなかったであろう。これは、国連社会開発委員会の年次総会でのことである。委員会は、2年のサイクルを有しており、最初の年は政府および NGO から声明を受け取って、2年目に結論を出す。今年はそのサイクルの最初の年に当たる。会合は普段、ニューヨークが雪や氷、そして零度以下になる2月に行なわれる。

社会的統一に関する ICSW の声明は広く回覧され、以下の国連のウェブサイトでも見ることができる。

<http://www.icsw.org/un/un.htm#2009>

ICSW の中心メンバーは、NGO の国の上部団体である。委員会の会合の後、ICSW は各国の代表者らが寄せた声明を各メンバーへと送付した。ICSW としては、メンバーに自分たちの国の政府が国民を代表してどのようなことを述べたのかを是非知っておいてもらいたいと考えている。政府の声明については、下記を参照のこと。

[http://www.un.org/esa/socdev/csd/2009\\_stats1.html](http://www.un.org/esa/socdev/csd/2009_stats1.html)

英国の代表は秀逸な声明を出した。いくつかを引用する。

「雇用というものが貧困から抜け出す最善の道筋であることは相変わらずであり、またミレニアム開発目標（MGDs）を達成するために極めて重要であることはさておき、増大する雇用へのアクセスは、決して収入のためばかりではありません。それはまた、社会的統一への道筋でもあるのです。」

さらに、英国代表は ILO の『グローバル・ソーシャル・フロア（global social floor）：セーフティ・ネットの拡大概念』というイニシアチブ（ちなみに ICSW はこれを支持

する立場にある) について熱弁をふるった。

「(これは) 基本的な社会保護のパッケージであり…基本的なヘルスケア、教育、貧しい人々や失業者に対する社会支援、そして基本的な年金を提供し得るものです。」

英国は、グローバル・ソーシャル・フロアについて、以下のように認識している。

「もし世界中がこぞってこれを追い求め、そしてこれに従うのであれば、ソーシャル・インテグレーション (社会的統合) を促進するのに重要な貢献をする (ことができる) でしょう。」

また英国は、グローバル・ソーシャル・フロアの導入について、「国主導で国が持っているアプローチ」であるべきだと助言している。ICSW はこのイニシアチブを支持しており、『南』における各国協議会の研修プログラムの一部に、グローバル・ソーシャル・フロアを取り入れている。グローバル・ソーシャル・フロアについてもっと情報が必要であれば、Isabel Ortiz (国連)、Michael Cichon (ILO)、Gaspar Faith (UNICEF) による委員会での優れたプレゼンテーションがあるのでご紹介する。詳しくは以下のサイトで、「A new deal for people in a global crisis – social security for all」と題された部分を参照のこと。

<http://www.icsw.org/un/un.htm#2009>

ICSW 代表および香港社会服務総会の代表は、国連経済社会局事務次長である沙祖康 (Sha Zukang) 氏と会う機会を持った。沙氏は国際ソーシャルワーク学校連盟、ICSW、そして国際ソーシャルワーカー連盟の合同国際会議に、主賓として参加することに合意した。会議は 2010 年 6 月 10～15 日にかけて行なわれる。

<http://www.swsd2010.org>

国連の会議における ICSW の代表は、会長のクリスチャン・ロレ、副会長のチャールズ・アビィ、そしてデニス・コレルである。香港社会服務総会からは Hoi Wai Chua (蔡海偉)、Tsang Johnny Wing Keung、そして Poon Silas Kwong Fai が参加した。

#### **国連貿易開発会議 (UNCTAD) の新しい出版物**

これまで国連貿易開発会議 (UNCTAD) の出版物について本誌に載せたことはないが、今回『Policy Brief No.6』 – 「アフリカ農業の維持～有機作物」を紹介する。農業が再び国際的な政策議論の中心に戻ってきたのである。長年にわたる投資の減退、不適切な拡張サービス、そして先進国からの補助金付きの食料輸出の入手可能性は、多くの開発途上国、とりわけアフリカ諸国における農業生産を蝕んできた。本誌では、有機農業の潜在的な貢献について検討している。

[http://www.unctad.org/en/docs/presspb20086\\_en.pdf](http://www.unctad.org/en/docs/presspb20086_en.pdf)

#### **SAGE 出版のソーシャルワークおよび社会政策関連誌のオンライン無料お試し読み**

SAGE は、広範囲にわたるソーシャルワークおよび社会政策関連の雑誌へのアクセス

を、2009年3月31日まで提供している。登録するには、以下のURLをブラウザにコピー／ペーストのこと。

<https://online.sagepub.com/cgi/register?registration=SOCIAL09ETOC>

いったん登録すれば、12の雑誌にアクセスすることができる。要約を見たり、キーワードで検索をかけたり、あるいはフルテキストをダウンロードしたりすることが可能である。

### 『インターナショナル・ソーシャル・ワーク』

ICSWは、『インターナショナル・ソーシャル・ワーク』誌のパートナーである。最新号（2009年3月1日、Vol.52、No.2）では、世界中のソーシャルワーカーに関する幅広い記事を扱っている。各号について目次を見ることができ、また登録すれば目次を受け取れるサービスもある。

<http://isw.sagepub.com/content/vol52/issue2/?etoc>

ICSWは、最新号では「News and Views」セクションに登場する。デニス・コレルが各国NGOおよび国際NGOについて検証しているものであり、国レベル・国際レベルの両方で、NGOの方向性に影響を与えている変化について論じている。開発援助を提供している国々は、受領国が自分たち自身の開発優先順位を決めることに重きを置きつつある。このことは、国内で政策策定および予算決定プロセスの一部となっている市民社会の重要性を増すものである。記事については以下を参照のこと。

<http://www.icsw.org/publication/isw.htm>

### 国連人権理事会

ジュネーブにおけるICSW国連代表を務めるAnne Herdtは、ICSWが国連協議資格を有する国際組織が提出する声明の共同署名人となれるよう手配をした。声明のタイトルは『平和のための人権vs人種差別主義、人種差別、外国人恐怖症、その他様々な形の不寛容』である。この長い声明は、社会正義および平等、被差別およびジェンダー的平等、全ての人権の尊重、文化的多様性、言語的権利、連帯、平和、そしてあらゆる国々、あらゆる人種、あらゆる民族、あらゆる宗教の間での友好的な関係のために、人種差別主義、人種差別および外国人嫌いに苦しむマイノリティー・グループ、アフリカ系の人々、そして先住民族の人々の権利のさらなる促進を、という人権理事会への要請で結ばれている。声明は以下のウェブサイトで見ることができる。

[http://www.dzeno.cz/?c\\_id=17739](http://www.dzeno.cz/?c_id=17739)

### 新しい調査研究

財政改革、開発についての国の能力、そして貧困削減

本ペーパーは、低開発国における税制の多様性と税制改革のプロセスについての調査

研究を扱っている。目的は、異なる税制及び税制改革政策が、どのように国を作っていくプロセスに寄与するか、また、税制政策における変化が、財政的な成長、貧困削減およびミレニアム開発目標（MDGs）の達成に必要なリソースの掘り起こしにおける低開発国特有の問題をどのように提起しているか、について解明することである。

<http://www.unrisd.org/80256B3C005BF3C2/setLanguageCookie?OpenAgent&langcode=en&url=/80256B3C005BCCF9/search/18D893883520B6ADC12574FE003A799C?OpenDocument>

#### 労働市場政策、貧困そして不確実性

本ペーパーは、貧困緩和の見地から見た、通常労働市場、社会政策、およびグローバル化した労働市場時代における調整の出来具合を評価するためのものである。ここでは、レビューしたほとんどの労働市場介入が、透明性や信頼性の欠如、高いコスト、リソースの誤った使用や無効なターゲット設定という意味での慢性的な非効率性といったごく一般的な欠陥によって被害を被っており、その結果、殆どの場合において最も貧しい人々に届くことなく、労働市場の不公平の軽減は失敗に終わっている、と結論付けている。

<http://www.unrisd.org/80256B3C005BF3C2/setLanguageCookie?OpenAgent&langcode=en&url=/80256B3C005BCCF9/search/1A798782A702F157C12574FE0039FF8A?OpenDocument>

#### アジアにおける移民と社会政策

本ペーパーは、南アジア域内における『南－南』および『南－北』の相互作用から発生した複雑さと、その社会サービス提供および社会政策との係わり合いについて述べている。本ペーパーと、これに続く4本のペーパーは、UNRISD－IOM－IFSの「開発途上国における社会政策と移民」についてのプロジェクト用に準備されたものである。

<http://www.unrisd.org/80256B3C005BF3C2/setLanguageCookie?OpenAgent&langcode=en&url=/80256B3C005BCCF9/search/FF0CD30FBDCADAB7C12574F000343306?OpenDocument>

#### サハラ以南のアフリカにおける移民と社会政策

本ペーパーは、サハラ以南のアフリカにおける地域内移民、その根源的理由、およびその社会政策および社会サービス提供にとっての意味合いに焦点を当てている。

<http://www.unrisd.org/80256B3C005BF3C2/setLanguageCookie?OpenAgent&langcode=en&url=/80256B3C005BCCF9/search/AC96A6E2D6C0FF9CC125751200354DDB?OpenDocument>

### 移民と貧困：連鎖、知識の落差、そして政策との係わり合い

本ペーパーは、移民と、貧困と、そして政策への影響との間にある連鎖を明らかにしている。

<http://www.unrisd.org/80256B3C005BF3C2/setLanguageCookie?OpenAgent&langcode=en&url=/80256B3C005BCCF9/search/9C786E2C1758D90DC12574F00035A639?OpenDocument>

### 国際移民、リスク・マネジメント、そして社会政策：ラテンアメリカの事例

本ペーパーは、ラテンアメリカのコンテキストにおける国際移民、リスク・マネジメント、そして社会政策に関する事例のいくつかを検証している。

<http://www.unrisd.org/80256B3C005BF3C2/setLanguageCookie?OpenAgent&langcode=en&url=/80256B3C005BCCF9/search/296CB311EAAB2ADDC12574F000329643?OpenDocument>

### 開発途上国間／からの人的資源の流れ：社会／公共政策への影響

<http://www.unrisd.org/80256B3C005BF3C2/setLanguageCookie?OpenAgent&langcode=en&url=/80256B3C005BCCF9/search/4957E3C5AD436345C12574F000349E39?OpenDocument>

### アイルランドの開発の解説：福祉を弱体化させながらの経済成長

本ペーパーは、大きく3つのセクションに分けられる。最初のセクションは、アイルランドが用いた開発戦略の根本方針、それらに関連した社会政策、そしてそれらの貧困に対する影響の概要である。第2のセクションでは、アイルランドの政策の性格およびその中における福祉の立場が、国の政治機関のあり方や、利益団体がそれらと相互作用するやり方を反映していることを論じつつ、アイルランドの現在の福祉制度を詳しく検討している。そして第3のセクションは、2および3で調べた政策体制を説明する際の政治および政治機関の役割に目を向けている。

<http://www.unrisd.org/80256B3C005BF3C2/setLanguageCookie?OpenAgent&langcode=en&url=/80256B3C005BCCF9/search/D35985C0845ED8F3C12575120031778C?OpenDocument>

### ラテンアメリカにおける社会保障（年金および健康保険）、労働市場およびカバー範囲

この四半世紀、とりわけこの15年間に於いて、ラテンアメリカの20カ国全てが、事実上社会保険健康プログラムを改正し、そのほとんどが、そのモデル、視野、深さ、そしてスピードに大きな違いがあるとしても、年金プログラムの一部あるいは全てを民営化するという構造改革に手をつけた。2004年近辺では、保健プログラムのカバー範囲

は、全人口の平均41%であった（これは国際労働機関（ILO）の最低ノルマ75%を下回る数字である）。また、7～34%の国が10カ国もあった。さらに、9カ国において停滞もしくは減衰の傾向が見られた。年金プログラムのカバー範囲は、平均して労働人口の31%であり、うち26%が民間制度、39%が公的制度を利用していた（どちらもILOの最低ノルマ20%を超えている）。しかしながら、これも減少の傾向にある。労働市場の非正規化／フレックス化の流れは、カバー範囲および上記の改正によって逆の影響を与え、そして過去および現在の社会保障政策は、変わりゆく労働市場に対応しきれていない。大きく4つのパートに分けられる本ペーパーでは、ラテンアメリカにおける労働市場、社会保障（年金および健康保険）、労働人口および人口のカバー範囲の間の関係の分析を行なっている。

<http://www.unrisd.org/80256B3C005BF3C2/setLanguageCookie?OpenAgent&langcode=en&url=/80256B3C005BCCF9/search/6E08841FF30C8F83C125751200320B25?OpenDocument>

#### **IPC（国際貧困研究センター）の新出版物**

【タイトル】 Why Aid Does Not Increase Savings in Sub-Saharan Africa?

『なぜ援助はサハラ以南のアフリカにおける貯蓄を増やさないのか？』

【著者】 John Serieux および Terry McKinley

【シリーズ】 One Pager #75

<http://www.ipc-undp.org/pub/IPCOnePager75.pdf>

【タイトル】 Aid and Savings in Sub-Saharan Africa: Should we worry about Rising Aid Levels?

『サハラ以南のアフリカにおける援助と貯蓄：我々は援助のレベルを上げ  
ることを懸念しているのか？』

【著者】 John Serieux

【シリーズ】 Working Paper # 50

<http://www.ipc-undp.org/pub/IPCWorkingPaper50.pdf>

これらのOne PagerおよびWorking Paperにおいて、著者らはサハラ以南のアフリカで、ハイレベルな支援を受けているにも関わらず貯蓄率および投資率が最低であることの理由の大半が、資本の流出で説明できる、と論じている。

## ICSW ウェブサイトの新しいニュース

| アップデート          | 内容                                               | リンク先                                                                                                                                                                       |
|-----------------|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2009 年 2 月 13 日 | ICSW 南アジア地域ニュースレター、2009 年 2 月                    | <a href="http://www.icsw.org/doc/South Asia Newsletter Jan09.doc">www.icsw.org/doc/South Asia Newsletter Jan09.doc</a>                                                     |
| 2009 年 2 月 17 日 | ICSW 東・南アフリカ地域ニュースレター、2009 年 1 月                 | <a href="http://www.icsw.org/doc/ESA Newsletter 2009 January Eng.doc">www.icsw.org/doc/ESA Newsletter 2009 January Eng.doc</a>                                             |
| 2009 年 2 月 19 日 | 国連：グローバル危機における人々のための新しい取引～万人のための社会保障、2009 年 2 月  | <a href="http://www.icsw.org/un/un.htm#2009">www.icsw.org/un/un.htm#2009</a>                                                                                               |
| 2009 年 2 月 19 日 | グローバル・ソーシャル・ポリシー (GSP) ダイジェスト版 9.1、2009 年 1 月    | <a href="http://www.icsw.org/doc/GSP Digest 9 1.doc">www.icsw.org/doc/GSP Digest 9 1.doc</a>                                                                               |
| 2009 年 2 月 24 日 | ギャップを埋めろ：ASEAN 地域における障害者のための権利に根ざしたアプローチの実現を目指して | <a href="http://www.icsw.org/doc/ClosingTheGapWordDoc DStubbsICSW ASEAN Dec08 19Feb 09.doc">www.icsw.org/doc/ClosingTheGapWordDoc DStubbsICSW ASEAN Dec08 19Feb 09.doc</a> |

本ニュースレターの内容の引用・転載は、出展を明らかにする限り自由です。本ニュースレターに掲載された見解は、必ずしも ICSW の方針であるとは限りません。

編集：ICSW 常務理事 デニス・コレル

ICSW 連絡先  
 ICSW C/- MOVISIE PO Box 19129  
 3501 DC Utrecht  
 Netherlands  
 Email: [icsw@icsw.org](mailto:icsw@icsw.org)  
 Tel: +31 30 789 2226